



紙すき作業を通して

障害福祉サービス事業所「かしの木園」の活動をご存じでしょうか。

この施設では、障がいのある利用者の自立と社会経済活動への参加を促すため、本人の適正などを踏まえた軽作業や創作活動を行っています。

先日、陶芸や回収した紙パックを再利用したはがきや名刺を製作していただきましたので、私も訪問し、手順を教わりながら一緒に作業をさせていただきました。

紙パックを煮詰めて材料となるパルプを取り出す作業から、細かくしたパルプを水糊と混ぜ、紙すきの要領で成形する作業など、一人一人が責任を持って作業に向き合っていたことが強く印象に残りました。

紙を手作業で細かくちぎるなど、手指を使うことは集中力を鍛え、同じ作業を繰り返すことによって、継続力を身に着けられます。

この紙すき作業によって生まれたはがきや名刺は、市役所1階の「ふれあいの店」などで、私たちも購入することができます。自身で製作した製品が売れることは、本人の喜びやその応援になるだけでなく、紙パックのリサイクルは、SDGs への貢献に繋がります。

市としても、社会全体が障がいについての理解を深め、お互いが支え合い、いきいきと暮らせる社会を実現するための支援を継続してまいります。



紙すき作業

市長 富山 稔